

はくよう 柏葉 10月号



第 475 号
令和7年10月1日発行
社会福祉法人 柏葉会
幼保連携型認定こども園
柏原こども園



食欲！読書！スポーツの秋！



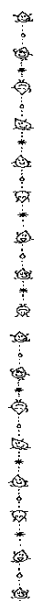
暑さ寒さも彼岸までと言いますが、秋の気配が感じられる今日この頃となりました。

園庭には元気な声が響き渡り、運動会に向けた練習に熱が入った日々が続きました。友だちや保育者と励まし合い、声をかけながら一つの目標に向かって取り組んできました。楽しさや喜び、時には悔しさなどを感じながらも、自信に満ち溢れ、子どもたちは心も体もより一層大きく、たくましく成長したように感じられます。26 日(幼児組運動会)の本番には、緊張と期待を胸に頑張るその姿はとても頼もしく、日々の積み重ねの大切さを感じさせてくれました。30 日(乳児組触れ合い運動会)には親子で触れ合う子ども達の嬉しそうな笑顔が見られました。

10 月は、そんな経験を土台に、散歩や戸外遊びを通して秋を満喫したり、絵画表現や造形表現を通して秋の芸術に親しんだり、子どもたちの自由な感性がさらに育まれるように様々な活動の中で、心身ともに実り多き秋になるようにしたいと思います。

10月の行事

1 日(水) 衣替え
6 日(月) お月見誕生日
8 日(水) 健康診断 13：30～
8 日(水)・15 日(水)スイミング教室(4・5 歳児)
9 日(木) サッカー教室(5 歳児)
10 日(金) 子ども食堂
12 日(日) 柏原区オータムフェスティバル
16 日(木) 避難訓練と身体測定
17 日(金) 園外保育
20 日(月) 運動教室(3・4・5 歳児)
22 日(水) いきいきサロン参加(3・4・5 歳児)
25 日(土) 保護者環境整備(0・1・2 歳さくら組保護者)
27 日(月) 就学前健康診断(5 歳児)
29 日(水) 笑顔写真 11：00～
30 日(木) 研究保育と絵画指導(3 歳児)
31 日(金) 足育測定(4・5 歳児)



5 日(水)・19 日(水) スイミング教室(4・5 歳児)
6 日(木) サッカー教室(5 歳児)
7 日(金) 焼き芋大会
7 日(金)～9 日(日) 米原市子ども美術展
11 日(火) 研究保育と絵画指導(4 歳児)
12 日(水)～14 日(金) CAP 子どもワーク
12 日(水) CAP 大人ワーク
12 日(水) 引き渡し訓練
17 日(月) 運動教室(3・4・5 歳児)
18 日(火) 誕生日会
20 日(木) 研究保育と絵画指導(5 歳児)
21 日(金) 子ども食堂

子ども食堂＜テイクアウトのみです＞



日時： 10月10日 金曜日
場所： 柏原こども園 玄関で現金と引き換えでお渡しします。
開店時間： 午後3時30分～午後6時
メニュー： 美味しいカレーライス
料金： 300円(容器代含む) 大人の量のみです。

<お願い>

- ・電話・FAX での注文も受け付けます。 ☎：(57)0077 fax：(57)0102
- ・食材(玉ねぎ・じゃが芋・人参・米など)のご協力をいただくと有難いです。
- ・アレルギー対応はしていませんのでご了承ください。

主な活動としつけのめあて

さくら組(0 歳児)

- 気温や体調に応じて衣服の調節をし、快適で健康に過ごす。
- 保育者と安定した関わりの中で戸外遊びや探索活動を楽しんだり、秋の自然に触れる。

さくら組(1 歳児)

- 気温差に留意し、ゆったりとした環境の中で健康に過ごせるようにする。
- 戸遊びや散歩を通して、秋の自然に触れたり全身を動かして遊んだりすることを楽しむ。

さくら組(2 歳児)

- 体調の変化に留意し、休息を十分に取りながら健康に過ごせるようにする。
- 秋の自然に触れながら、保育者や友だちと一緒に身体を動かして遊ぶことを楽しむ。



～エピソードに学ぶ NO, 17～

人は何によって幸福になるのでしょうか？

運動会を終え子ども達の成長を感じる今日この頃。保護者様から連絡帳に頂いたコメントを読むと、入園した頃にさかのぼり子どもの成長ぶりに涙が止まらなかったと書いてありました。子ども達の練習当初からのプロセスを思い出すと子ども達は徐々にやる気を見せ自信に満ち溢れ、当日は一生懸命な姿に心打たれ感動を呼びました。まさしく大人や仲間たちに励まされ、やり抜く力を発揮できた運動会だったと思います。誇らしげな子ども達の姿に子ども達の未来が明るいものであることを想像しているところです。

先月は、「アタッチメント」についてお伝えさせていただいたのですが今月は「非認知能力」についての記事をお伝えしたいと思います。

アメリカ・ハーバード大学が「人は何によって幸福になるか？」を科学的に解明すべく若者たちを対象に長期研究をはじめ現在も対象を広げながら継続中とのこと。それによると、子ども時代の家庭環境や人間関係が大人になってからの幸福感や健康に大きく影響するという明確な結論に至っています。この研究では金銭や地位といった外的要因ではなく「家庭内で責任をもってかかわった体験」例えば家事を手伝うなど、日常の中で得られるような体験が「自己効力感」や「社会性の発達」につながり、将来の仕事の成功や幸福感に深くかかわっているという点が注目されています。「自己効力感」は自分は問題を解決できるだろうという概念。似た概念として「自己肯定感」で自分の存在を肯定できる感情です。二つの概念は、自分をポジティブにとら

もも組(3 歳児)

- 友だちや保育者と一緒に戸外で体をのびのびと動かして、遊ぶ楽しさを味わう。
 - 落ち葉や木の実など、秋の自然に触れて遊ぶことを楽しむ。
 - 身の回りのことを自分から進んでする。
- ☆食前の手洗いを丁寧にしよう！

すみれ組(4 歳児)

- 活動と休息のバランスに留意し健康で快適に過ごせるようにする。
 - 簡単なルールのある遊びや運動遊びを通して、友達と一緒に活動する楽しさを味わう。
 - 初秋の自然や動植物に触れ興味関心を持つ。
- ☆相手の目を見て話を聞こう！

ふじ組(5 歳児)

- 絵画活動を通して自分の思いやイメージをのびのびと表現する。
 - ルールのある遊びを楽しみながら友だちと協力したり順番を守ったりして気持ちよくかかわる力を育てる。
 - 散歩や園外での体験を通して落ち葉や木の実・虫など秋の自然物を使って造形活動を楽しむ。
- ☆自分の思いを言葉にして伝えよう！

えるところが共通しています。そして子どもの将来や人生を豊かにする力が「非認知能力」です。この非認知能力の低下や自己肯定感を下げる要因として考えられているのが親子関係と言われており、親から掛けられる言葉や態度は、子どもの思考や情緒に大きな影響を与えるということです。親との温かい関係や家庭内で責任をもって関わった体験などが将来の仕事の成功や幸福感と深くかかわっているのです。認知能力は「知識・技能・思考力・判断力・表現力」等ですが「学びに向かう力・人間性等」の「非認知能力」は今、文科省、厚生労働省ともに重視するようになりました。

「非認知能力」を育むことは難しいことではありません。最も大切な条件は乳幼児期から大人に愛されて、受け入れられて育つことです。子どものありのままの姿を肯定的に受け止めてあげることや何かをやり遂げた時、上手くいかずに苦しんでいる時に共感を示す言葉を掛けてやることです。また、絵本の読み聞かせや、一緒に存分に遊んであげること、考えたり、工夫したりの創造性も養われます。こうした日常の中で得られる体験が記憶に残り「非認知能力」を育んでいくことにつながります。

「自分ならできる」と自分の能力を信じ、行動できるように、たとえ上手くいかなかったとしてもチャレンジを続けやり抜く力を発揮できるように応援関わっていききたいものです。ご家庭においても、また園においても子ども達の「非認知能力」を育む関りをしていきましょう。子ども達の幸福な未来を願って。

(※保育界・保育における諸問題を考える 参照)